



道路整備計画の現状と今後の方針について

白松 光好（みどり 21）

動画は
こちらから



菊川市の道路整備の今後の方針と計画について質問した。

◎ 菊川市の道路整備計画で今後北側エリアの整備計画についての取組姿勢は。

▲ 菊川市都市計画道路整備プログラムに基づき、未着手となっている西方高橋線の北工区の事業化を目指していく。

◎ 西方高橋線北工区の今後の具体的な工事と取組について。

▲ 主要地方道掛川浜岡線バイパスの一部として事業化を目指している。現在、菊川・掛川両市をまたぐ区間について道路勉強会を重ねており、事業化に向けて調整していく。

◎ 西方高橋線北工区の開通が市内の渋滞緩和に効果があると考え、市の見解は。

▲ 西方高橋線北工区が開通した時、並行する現道の交通分散効果と、広域的な幹線道路ネットワーク形成により市街地に流入する通過交通を迂回させる効果があり、周辺道路

の交通負荷が低減し渋滞緩和に効果をもたらすと考える。

◎ 菊川市は、今後どのように道路整備を考え具体的に計画していくのか。

▲ 道路は市民生活や経済活動を支える重要な都市基盤であり、今後の整備については、社会情勢の変化を的確に捉え、効果的かつ計画的に進めていく必要がある。市としては、将来にわたって安全・安心で活力あるまちの実現に向け、整備すべき道路をしっかりと見極め、計画的な道路整備を進めていく。

他に「犯罪被害者等支援対応」について質問しました。



健康づくりの推進について

本田 高一（菊川ゆめ未来）

動画は
こちらから



菊川市においても行政がきっかけづくりを担い、その後の継続的な活動については地域の受け皿へ繋げていくという役割分担のもと、施策を有機的に連携させていくことが重要であると考える質問した。

◎ 社会教育課、長寿介護課の健康関連事業について、役割分担や連携をどのように認識しているか。

▲ 社会教育課は市民が運動に親しむきっかけづくり、長寿介護課は介護予防事業を担っている。社会教育課と健康づくり課においては、体力測定会や健康チェックの日を共同開催し連携を進めている。

◎ 各種健康スポーツ教室終了後の継続的な活動への接続について、どのように充実を図っていくか。

▲ 各種教室終了後の受け皿となる地域団体の情報の収集や提供に努め、市民の継続した活動につなげていく。

◎ 地域スポーツ活動の持続的な運営について、現状の課題と今後の方向性をどのように考えているのか。

▲ 担い手不足などの課題を踏まえ、スポーツを通じた地域づくりを進め、ニュースポーツの普及等を通じて、地域スポーツ活動の継続的な運営を支援する。

◎ 医療・介護予防・スポーツ・多世代交流を一体的に捉えた「健康都市」の実現に向けた庁内横断的な取組をどのように進めていくか。

▲ 庁内横断的な連携を深め、市民団体など多様な主体との共創の取組を進めていく。

